

開講年度・学期	2017年度・後期	授業形態	演習
科目名	演習論文（国際法）	科目ナンバー	JASEM3305
英語表記	Thesis Seminar on International Law	担当教員	桐山 孝信
単位数	2		
科目の主題			
現代世界の変化と国際法の役割			
授業の到達目標			
特定の問題について、国際法の観点からどのようなことが読み取れる、そしてその解決に当たってどのような課題があるかを明確にし、それらを論理一貫した文章として表現できるようになること。			
授業内容・授業計画			
<p>かつて戦争の違法化や自決権の登場によって国際法の構造が大きく変わったように、近年の国際刑事裁判所の発足や人権の主流化、国際環境法の発展は、国際社会の秩序・価値観・ルールなどに大きな変容をもたらしつつある。本演習では、変容しつつある国際社会の最新像を解明するとともに、現代世界の変化に対して国際法はどのような役割を果たすことができるかを考える。</p> <p>それを踏まえたうえで、自らテーマを設定し、そのテーマについて国際法の観点からどのような問題があり、その解決に当たってどのような課題があるかを明確にする。当該テーマについての先行研究の把握、関係資料の収集と分析、論点の整理を行った上で、課題へのアプローチを行い、筋道の通った文章に仕上げる。</p>			
事前・事後学習の内容			
論文執筆にかかわる報告を毎回してもらうので、その準備を事前学習とし、演習終了後には授業で与えたアドバイスについて自分なりに考えて、次回に備えることを事後学習とする。			
評価方法			
論文が、テーマ設定の適切性、先行研究の理解度、論理的な記述になっているかどうかなどを総合的に判断して評価する。			
受講生へのコメント			
国際法や国際問題にかぎらず、あらゆることに知的好奇心が旺盛で、そのためには時間と労力をおしまない学生の参加を期待する。			
教材			
その他			
履修可能最低年次			
3年次生以上			